

秋田魁新報に掲載されました

卒業生である進藤大翔くんのコメントと生徒会長 野呂貴大くんのメッセージが「秋田魁新報」に掲載されました。

大学でも競技続ける／つらい経験を強さに

「野球部では5番レフトで、全国制覇を目標に頑張ってきた。甲子園が中止となり落ち込んだときもあったが、チームメイトや監督、家族らの支えもあり、不運な状況でも気持ちを前向きに持っていく方法を学べた。卒業後は県内に就職する。高校生活での経験を生かしながら、自分の言動に責任を持てる社会人になれるよう努力したい」
 湯沢翔北高3年、大日向廉さん(18)

卒業生、保護者一言

「六郷高校PTAの3年の学年部長をしており、次男が今年卒業を迎えた。文化祭やインターハイが中止となり、写真部に所属していた次男も町外での展覧会が取りやめとなった。主役の3年生にとっては残念だったと思う。それでも頑張って登録し、学校も安全を確保して受け入れてくれた。コロナ禍でつらい思いをした経験は、社会に出てさまざまな

ことを乗り越える強さにつながるはずだ」
 美郷町六郷、会社員釜谷聡さん(53)

「長女が大曲農高太田分校を卒業した。仲間もでき、しっかりサポートしてくれる先生に囲まれ、良い学校に通えたと感じている。最後のホームルームでは、担任のお話のほか、前の担任からの手紙も披露された。温かく心強い言葉に感動した。社会に出ると大変なこともあるが、乗り越えていける強さを身に付けられたはずだ。地域の方々と交流も多く、素晴らしい経験ができたようだ」
 大仙市戸地合、ギター奏者山手昌行さん(45)

「バドミントン部の主将を務めた。おとしの全県高校総体で、先輩たちと全県ベスト8に入ったのが本当にうれしかった。得意技はドロップ。

かっこよく決まると楽しい。最後の年はコロナで試合数が減って残念だった。後輩には部活を休まず頑張ってもらいたい。努力した分、目標を達成した時の喜びも大きいから。同級生はいろんな地域から来ていて、にぎやかで楽しかった」
 秋田修英高3年、進藤大翔さん(18)

「中学まで東京に住んでいたが、祖父と叔父がかつて活躍した大曲農高自転車競技部に憧れて入学した。美郷町に住む叔父と暮らしながら競技に打ち込んできた。インターハイや国体の入賞が目標だったが、最後の年に中止となってしまい悔しい。鍛えた持久力を全国の舞台で発揮したかった。日本大学で競技を続ける。インカレで優勝して、支えてくれた叔父や家族に恩返ししたい」
 大曲農高3年、高橋まりおさん(18)

(3/17付「秋田魁新報」より)

新入生歓迎のメッセージ

3/18付「秋田魁新報」
 高校合格特集 より)



生徒会長・2年 野呂貴大さん 本校にはスポーツコースがあり、授業と運動させて部活動に力を入れています。本年度は野球部、剣道部、羽球部が好成績を残しました。少人数の学校ですが、一人一人の居場所があります。私たちが共に絆を深め、目標に向かって励んでいきましょう。

秋田 修英



勤勉・誠実・奉仕

- ①富樫義明②大仙市大曲須和町1の1の30③0187・63・2622④1959(昭和34)年